

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成26年10月30日 (2014.10.30)

【公開番号】特開2013-66526(P2013-66526A)  
【公開日】平成25年4月18日 (2013.4.18)  
【年通号数】公開・登録公報2013-018  
【出願番号】特願2011-205582(P2011-205582)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 5/0402 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 1 0 U

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月16日 (2014.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電圧源と、

前記電圧源に接続され、生体に接触する測定電極と、

前記電圧源と前記測定電極の間に接続された抵抗器と、

前記抵抗器と前記測定電極の間の電位を増幅する第 1 の増幅器と、

を具備する生体信号測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の生体信号測定装置であって、

前記抵抗器は、前記測定電極と前記生体の接触抵抗の抵抗値範囲のうち、測定したい抵抗値範囲の対数中心値となる抵抗値を有する

生体信号測定装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の生体信号測定装置であって、

前記抵抗値範囲は、10K 以上 1M 以下の範囲であり、

前記抵抗器は、100K の抵抗値を有する

生体信号測定装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の生体信号測定装置であって、

前記抵抗器と、前記測定電極の間の接続を開閉することが可能なスイッチをさらに具備する

生体信号測定装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の生体信号測定装置であって、

第 2 の増幅器と、

前記生体に接触し、前記第 2 の増幅器に接続されたりファレンス電極と

をさらに具備する生体信号測定装置。